

糖尿病腎症への具体的支援 ～保健師の立場から～

津市糖尿病性腎症重症化予防の取り組み

津市健康福祉部保険医療助成課
保健師 木下 なつこ

【本日のお伝えすること】

- ・津市の概況、特徴
- ・糖尿病性腎症重症化予防実施までの経緯、目的、対象、効果など
- ・見えてきた課題
(改善に向けて、今、取り組んでいること)
- ・気づき



津市の概況



- 平成18年1月に津市、久居市、河芸町、芸濃町、美里村、安濃町、香良洲町、一志町、白山町、美杉村の2市6町2村の市町村合併を行い、現在の津市に至る
- 面積711.11平方キロメートル
東京23区、琵琶湖とほぼ同じ大きさ
- 人口 280,024人(平成30年11月30日現在)

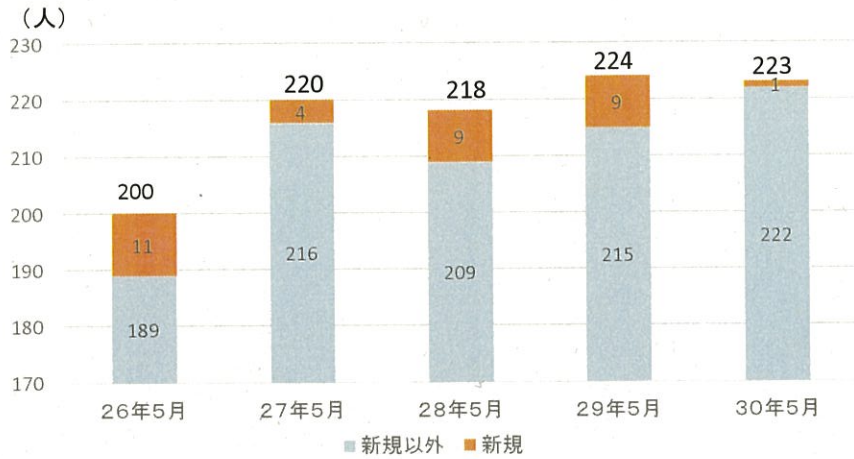


津市国保の特徴

- ・国保加入率 20.2% 56,155人(全国25.0%)
- ・被保険者の65歳以上割合が高い 49.1%(全国40.0%)
- ・医療機関数が多い 千人当たり 病院数0.4(全国0.3)
診療所数4.8(全国3.1)
- ・医療機関受診率が高い 千人当たり 837.198
(県平均797.920)
- ・一人当たり医療費が多く増加傾向 28,477円(全国25,032円)

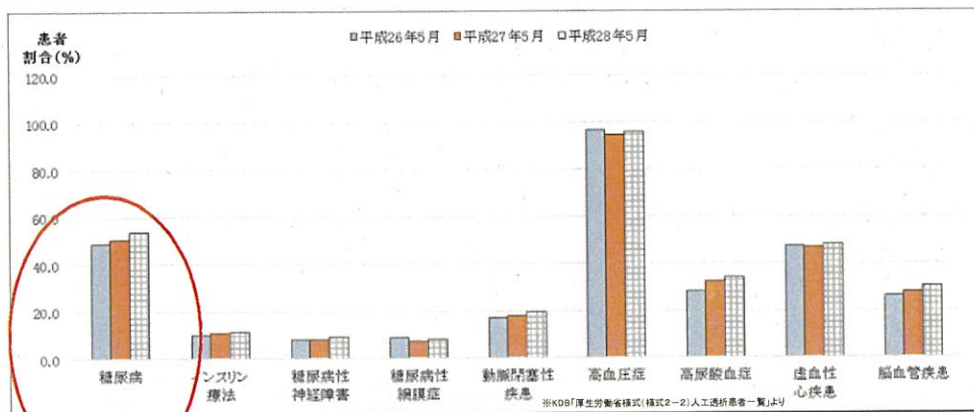
KDBシステム 平成29年度累計

人工透析患者数推移



KDB「医療費分析細小分類」より

基礎疾患別患者割合(延べ患者数/実患者数(全体))



背景 ・ 事業実施までの経緯

市町村国保データヘルス計画(保健事業実施計画)に基づき、レセプトデータから医療費が高額で増加傾向にあり、予防可能な疾患を見極め、効果的で効率的な保健事業を実施するよう求められた。

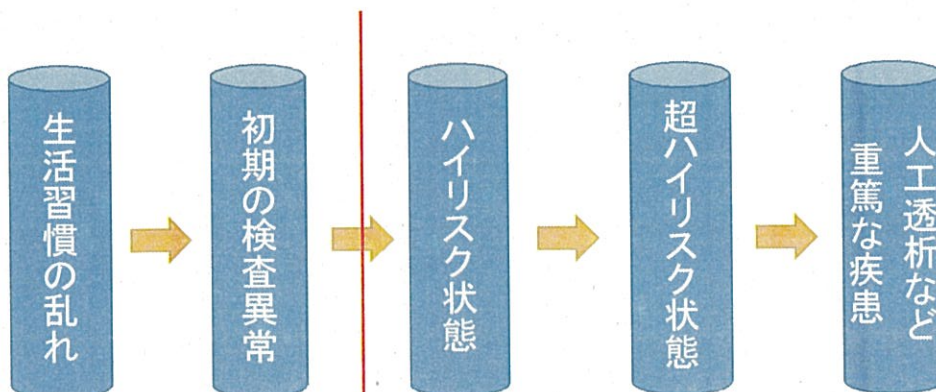
国において、糖尿病性腎症重症化予防事業の推進のために厚生労働省、日本医師会、日本糖尿病対策推進会議の三者協定が締結、プログラムが作成

津市において、平成28年度から津市国保データヘルス計画(保健事業実施計画)に基づき、糖尿病性腎症重症化予防事業を外部委託にて実施

県において、本事業推進のために三重県、三重県医師会、三重県糖尿病対策推進会議、保険者協議会の四者協定が締結

県において、本事業の推進のためのプログラムの作成、三重県医師会の糖尿病性腎症重症化予防担当役員の決定

保険者の保健事業の対象者は幅広く



ここまでが保険者の仕事？

ここからは医療の仕事？

- ・被保険者10.1%の人の医療費が全体の65.3%を占めている。
- ・被保険者2%の人の医療費が全体の46.7%を占めている。(平成30年5月診療分)



高額医療費の抑制に努める必要がある！

糖尿病性腎症重症化予防事業 目的

- 1 未治療者、治療中断者を医療機関の受診へつなげる。
- 2 生活習慣の改善により重症化予防が期待できる糖尿病性腎症患者に対して、津市が医療機関と連携して保健指導を行い、患者が自己管理できるよう支援し重症化を予防する。

対象

津市国民健康保険特定健診を受診結果から対象者を抽出

(1) HbA1c6.5%以上または空腹時血糖130mg/dl以上の人のうち

(2) 尿たんぱく2+(平成29年度)以上または

(3) eGFR15以上60未満

※平成30年度から

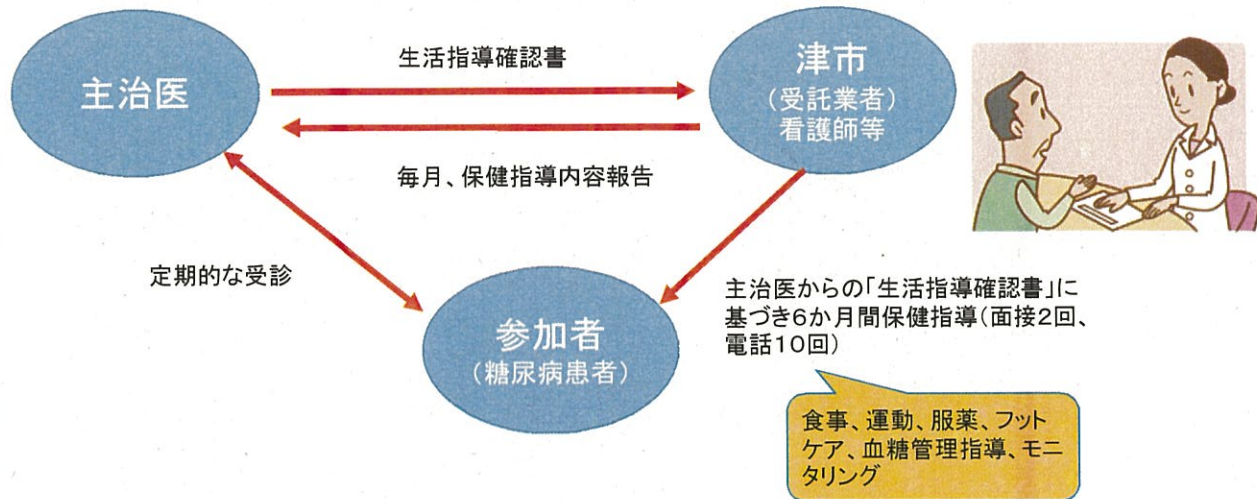
(2)尿たんぱく1+以上または(3)eGFR15以上60未満を対象

事業内容 ①未治療者には受診勧奨

- ・平成28年度
3人に電話にて受診勧奨→1名が受診へ
- ・平成29年度
9人に訪問(不在の場合は手紙)にて受診勧奨→6名が受診へ
- ・平成30年度
31人に訪問(不在の場合は手紙)にて受診勧奨→15名が受診へ



事業内容 ②治療中者には保健指導



保健指導プログラム参加状況

- 平成28年度
217人中32名が終了、途中終了4人
- 平成29年度
213人中13人が終了、途中終了0人
- 平成30年度
265人中27人が実施中



保健指導方法

- 初回 面接(60分)
- 2週間後 電話(30分)
- 1か月後 面接(60分)
- 6週間後 電話(30分)
- 2～6か月後 月2回電話(30分)



保健指導の効果

		28年度	29年度
検査値変化	HbA1c改善率	65.2%	63.6%
	eGFR改善率	60.0%	60.0%
生活習慣変化	食事改善率	68.8%	84.6%
	運動改善率	60.0%	84.6%
	セルフモニタリング改善率	81.2%	92.3%
透析移行率		2019年3月診療分を確認予定	2020年3月診療分を確認予定

保健指導終了後のフォロー体制

- ・保健指導内容を毎月主治医に報告
- ・保健指導終了後に保健指導サマリーを主治医に報告
(今後も継続して主治医から声掛けをお願いしたいことを記入)
- ・年に1回、終了者と参加者のための交流会を開催
管理栄養士による食事管理や医師による糖尿病性腎症の管理についての講話や参加者同士の情報交換



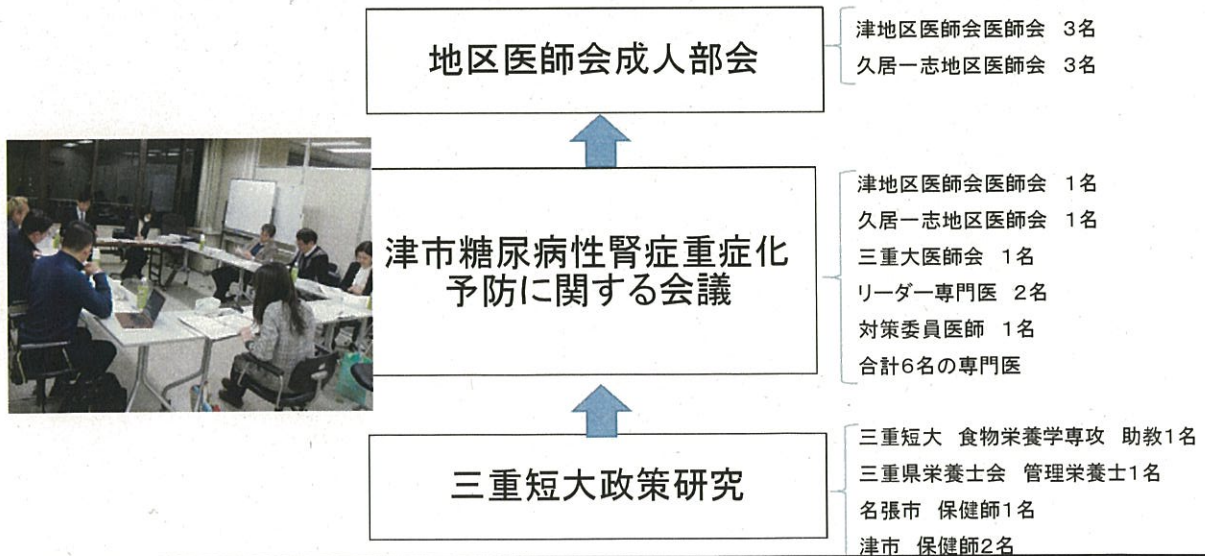
課題

保健指導を外部業者委託してきたため、多額の委託料が必要。これまで国保ヘルスアップ事業(国の10/10補助)で実施していたが、財源確保が不可能となった場合でも継続的な実施を可能にする必要がある。



もっと経費を抑えた効果的な方法で継続実施できるには？

津市糖尿病性腎症重症化予防に関する会議



見えてきた課題

(改善に向けて、今、取り組んでいること)

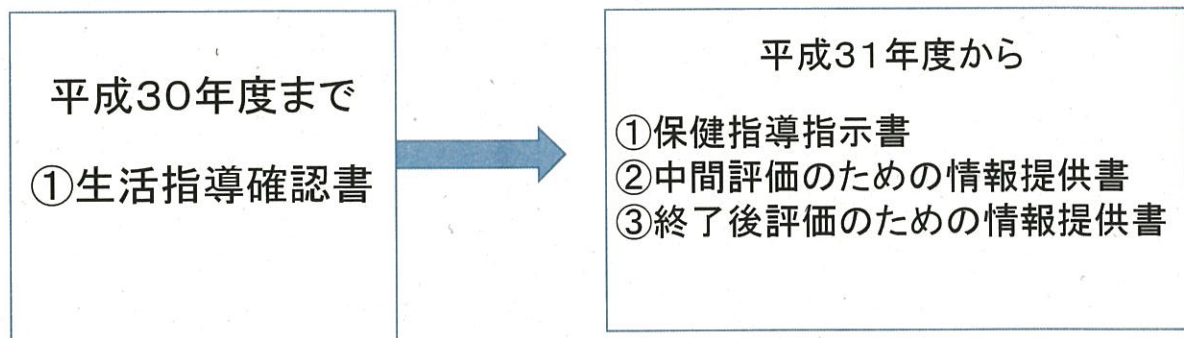
平成31年度 市直接実施に向けての課題①

①参加率の向上→主治医の理解と協力が不可欠

- ・医師会への周知
事業のチラシを医師会から配布
医師会会報誌への掲載
- ・健診受診機関が主治医の場合は主治医からの声掛けを
依頼

平成31年度 市直接実施に向けての課題②

- ②事業評価のための検査データの把握が困難
→保健指導指示書の見直し



平成31年度 市直接実施に向けての課題③

- ③保健指導人材育成
→研修会への参加(外部主催、市主催)

保健指導人材確保

- 三重県栄養士会から臨床経験のある管理
栄養士を市へ派遣予定

平成31年度 市直接実施に向けての課題④

④保健指導用テキスト等の作成

→三重短大政策研究として、食物栄養学専攻助教及び三重県栄養士会、専門医による指導のもと作成中

気づき

- 医療費の適正化を図るためには保険者は疾病予防だけでなく、高額医療費の抑制も視野に入れる必要がある
- 治療中の患者への保健指導は主治医の理解と協力が不可欠
- 事業評価のために、検査データが把握できる工夫が必要
- 事業実施には医師会、栄養士会等の関係機関との連携が必要
- コストを抑えて継続実施が可能な方法をめざす
- 少ない稼働量で効果的な保健事業を実施する
- PDCAサイクルに沿った保健事業を展開→課題や失敗を肥やしに

ご静聴ありがとうございました。



三多気の桜(津市美杉町)